

第402回 番組審議会

1. 日 時 平成17年9月21日(水) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 14名

出席委員 10名

出席委員	委員長	藤元 隆一
	副委員長	橋田 純一
	委員	堀内 三郎
	委員	山本 玲子
	委員	梅村 俊男
	委員	高橋 三男
	委員	久郷 和美
	委員	帷子 利明
	委員	佐藤 晴久
	委員	早瀬 藤二

欠席委員	委員	和田 利彦
	委員	岡田 知嗣
	委員	千葉 則茂
	委員	西郷 喜代子

社側出席者	中野 士朗 (代表取締役社長)
	松本 齊 (取締役副社長)
	石井 修平 (専務取締役) 報道・制作・ｽﾎﾟｰﾂ戦略・ 広報・番組審議会担当
	阿部 孝夫 (常務取締役事業局長) 事業担当
	高橋 甫和 (取締役技術局長) 技術担当
	淵沢 行則 (制作局長)
	及川 昇 (営業局長)
	鈴木 直志 (報道局専任局長)
	梅沢 宏直 (報道局次長)

事務局	青山 尚之 (編成局長)	番組審議会事務局長
	八重樫雅弘 (編成局編成部主任)	

4. 議 題

1. 「ザ・ナビゲーター3第2回」

平成 17 年 8 月 21 日 (日) 12:30 ~ 13:25 放送

2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 議事の概要

委員からは、「経済界全体が苦しい状況の中、岩手出身の経営者達が活躍している姿には頼もしさを感じた。」「ワイズマンの南館伸和社長や南部美人の蔵元久慈浩介氏、ライブドアの熊谷史人副社長らはそれぞれ情熱的な方々であり、それぞれの方々の個性をうまく引き出した取材・番組構成が行われていると感じた。」「これまでのシリーズは総論中心で各論の部分について物足りなさを感じる所があったが、ようやく各論についての論議を進めようとする番組制作者の姿勢を感じる事が出来、これからのシリーズにも大いに期待が持てる。」とする意見が出された。

6. 審議内容

別紙のとおり

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、キー局及び関係局、関連部署に議事録を配布するなど、関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

(平成 17 年 9 月 28 日(火)午前 11 時 50 分 ~ 11 時 57 分放送)で、審議の概要を放送。

- ・支社・支局に議事録を設置
- ・当社のインターネットのホームページで議事録を公開。

9. その他の参考資料

資料として以下のものを配布

- ・視聴者からのご意見
- ・タイムテーブル

議事の内容

- 事務局 定刻になりましたので審議会を始めます。きょうは、まず、「5きげんテレビ」プロデューサーの梅沢からお話がございます。
- 社 側 以前の番組審議会で「5きげんテレビ」に出演されている方についてご意見を頂きました。検討した結果、先月中旬をもって、その方が出演されている部分のVTRは終了いたしました事を報告いたします。
- 事務局 今日の議題は、8月21日（日）放送の「ザ・ナビゲーター3第2回目」です。
委員長お願い致します
- 委員長 今日の議題は「ザ・ナビゲーター3第2回」です。それでは宜しく申し上げます。
- 委 員 興味深く見ました。岩手出身の方々の活躍が頼もしかった。南部美人さんの海外進出にも見応えがあり、明確なまとめも良かった。ライブドアの熊谷副社長は、何故副社長まで昇格できたのか、その部分についても知りたかった。CXグループとの一連の出来事も良く纏まり、堀江氏の人物像も良く分かりました。
- 委 員 全体を通して見た際、久慈氏、南舘氏にくらべ熊谷さんの時間配分が違っていました。これは、熊谷さんが意思決定者ではないという点に関わっていると思います。久慈氏、南舘氏については論点がはっきりしていたが、熊谷氏については曖昧なところがあったのではないかと感じました。
- 委 員 毎回しっかり制作していると感じました。今回は、久慈氏南舘氏は岩手に暮らしている方で、地に足がついていると感じました熊谷氏については、株価の時価総額で勝負している会社ですので、論点が明解でした。また、インターネットと放送と融合への問いについても明確な回答がありました。久慈氏については日本酒の価値を世界的に高めて日本にフィードバックするという考えには、興味を受けましたが、アナウンサーの方の受け取り方がずれていたと思いました。全体としては物足りなさもありましたが、岩手出身の方々が時代の最先端を走っていることを強く感じる事が出来ました。
- 委 員 東北の経済が低迷している中、元気がある経営者を取り上げる事は意味があると思いました。3人の経営者を紹介されていましたが、その方々を支えている方々も重要なポイントになっていると感じました。行動力のあるこの方々、例えば熊谷氏のような方々に岩手県の展望などを語らせる事も面白いのではないかと感じました。
- 委 員 今回は久慈氏や熊谷氏などタイトルとミスマッチだったと思う。岩手の若手ビジネスマン、などが適当だと思った。違う話なのですが、8月11日の「どっちの料理ショー」で盛岡ラーメンが取り上げられて盛岡の観光に貢献していると思います。その過程の話をお聞かせ願いたいと思います。
- 委 員 出演している3人の方々とも情熱的な方々で、それぞれの個性を旨く引き出していると思う。ナレーターの語り口も切れ味があり、また女性キャスターの表情コメントにも好感を思います。
- 委 員 これまで名前だけは知っている方々が出演されていて情熱的な方々が岩手にいる

ことに頼もしく思いました。岩手にもまだ他にも色々な方がいて、これからも掘り出してくださる事を期待します。

委員 これまでのザ・ナビゲーターは、総論は非常に良いが各論の部分で物足りなさを感じる事が多かったが、やっと各論についても議論できる番組になってきたと感じました。こういう企画を発掘して各論について論議して欲しいと思います。

委員 昭和 30 年代日本の経済を引っ張った方々がいらっしゃいますが、日本の経済がどう進んでいくか、という今の時代にこの 3 人が岩手にいるのではないのか、という視点でこの番組を見ました。以前の経営者達とは違い、明るく前向きに取組んでいる姿が印象的でした。

社側 ライブドアの熊谷副社長を経営者と捉える事が出来るのか、という意見がありましたが、ライブドア社内では熊谷氏が実質的に経営を行っている事は確かな事です。

社側 率直なところ経済的な部分が弊社は弱点です。いろいろな捉え方があると勉強させてもらいました。

社側 どちらの料理ショーは大阪の読売テレビが制作しています。この「ラーメン」については読売テレビが外注しているプロダクションが中心に制作しているもので、弊社があまり関与しない形で進んでおりました。視聴率的には 26% と好評を得ていました。

委員 他になにかありますかでしょうか。では、事務局にお返しします。

事務局 以上で番組審議会を終了いたします。